

1. 健康管理活動報告

平成 29 年度 健康管理活動報告

1. 大分県厚生連健康管理センター事業概要

当センターは「恕」を行動理念とし、常に最新の設備と高い専門性により健康診断や巡回検診のほか、健康教育や調査研究事業に取り組んでいます。

1) 施設認定

- ・ 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定
- ・ 日本病院会「優良自動化健診施設」認定
- ・ マンモグラフィ検診精度管理中央委員会「マンモグラフィ検診施設画像」認定

業務機構

当センターの体制として、医師においては、日本人間ドック学会認定をはじめ、日本消化器内視鏡学会認定指導医、検診マンモグラフィ読影認定（A 判定）、日本医学放射線学会専門医、産業医などの専門資格を有する医師が、併設の鶴見病院や大分大学医学部の協力を得て確保されています。

また、専門資格を持つ医療スタッフにより各種検査の精度管理に努め、フォローアップにも力を入れています。保健指導科においては、保健師 18 名（うち APU ヘルスクリニック勤務 2 名）、管理栄養士 2 名の 20 名体制で健診及び健康教育事業を行っています。

2) 施設概要

施設健診対応人数 43,000 人/年間（1 日あたり 180 人）
宿泊施設 12 室、13 人/1 日の宿泊ドックが可能

2. 平成 29 年度健康管理活動状況

(ア) 特定健診・特定保健指導の円滑実施

特定健康診査・特定保健指導を効率的・効果的に実施できるように関係各機関との連携を密に行い、質の高い健診と保健指導の提供に努めました。

(イ) 保健指導活動及び健康増進活動の充実

JA 大分中央会と連携した JA 健康増進事業を推進して健康教育啓発活動を県下各地で展開しました。その結果、健康セミナー等の健康教室やセミナー等の健康維持増進教室では 6,736 名、JA 組合員や女性部を中心とした健康相談及び衛生講話では 2,245 名など多数の参加により開催することが出来ました。

(ウ) 大分県市町村保健師連絡会議の開催

平成 29 年 12 月 21 日に第 31 回大分県市町村担当者・保健師連絡会議を県、保健所、17 市町村の担当者・保健師など、計 44 名が参加して開催致しました。当センターの健診・保健指導と健康増進活動への理解と協力を得るうえで有意義な会議となりました。会議の中では、鶴見病院の財前博文副院長兼心臓病センター長による「虚血性心疾患の診断と治療」についての講演が行われ、検診・治療に関する理解をさらに深めるとともに活発な意見交換が行われました。